

「じゃらん宿泊旅行調査 2011」



じゃらん宿泊旅行調査

2011

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

じゃらん宿泊旅行調査

昨年度1年間(10年4月～11年3月)の宿泊旅行実施率は57%。1度も国内旅行をしなかった人がついに4割超え。震災後1ヵ月時点(4月20日時点)での年内国内旅行意向65%。沖縄、東北3県(青森県・秋田県・山形県)への旅行意向が実績を大きく上回る。

2011年7月21日
株式会社リクルート

株式会社リクルート(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO: 柏木齊)の旅行ディビジョンに設置されたじゃらんリサーチセンター(センター長: 沢登次彦)では、この度、全国約1万5,500人の宿泊旅行者を対象に、「じゃらん宿泊旅行調査2011」を実施しました。

この調査は、観光などを目的とした宿泊を伴う旅行実態を把握するために行っている調査で、出張・帰省・修学旅行などを除いたマーケットの動向を調べています。昨年度1年間(2010年4月～2011年3月)における国内での宿泊旅行の実態について、その行き先や回数、旅行費用などの調査をし、今年で7回目の実施となります。主な結果は以下の通りです。

※2011年7月26日にデータを修正しております。

8ページ: TOPIC内 (誤) 瀬戸内芸術祭が実施された広島県 → (正) 瀬戸内芸術祭が実施された香川県

<TOPICS> ※1 宿泊旅行…国内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行などを除く

●昨年度1年間(2010年4月～2011年3月)の宿泊旅行※1実施率が前年度比で3.6ポイント減の56.7%(震災影響を除いた試算で57.1%)全国の延べ宿泊旅行者数は約1億5,020万人(前年度比7.5%減)、延べ宿泊数は約2億4,686万泊(前年度比7.8%減)となった。

.....P3

●全国の宿泊旅行にかけられた費用総額(推計)は約7兆円(前年度比8.5%減)。1回(大人1人あたり)の宿泊旅行費用は前年度より400円減少し、4万6,900円。

.....P4

●東日本大震災から約1ヵ月後(4/20)時点での年内中の旅行意向は65.1%。昨年度1年間の旅行先実態を、旅行意向が大きく上回ったエリアは沖縄、東北3県(青森県・秋田県・山形県)

.....P5

●「延べ宿泊旅行者数が多い旅行先」上位の顔ぶれは変わらず。「延べ宿泊旅行者」増加率1位は、平城遷都1300年祭のあった奈良県で28.7%増。

.....P6

●「一人旅」は6年連続増加し13.1%。「小学生以下の子連れ家族旅行」は構成比が微増し12.8%

.....P7

■<<テーマ別・都道府県ランキング>>

○来訪者のうち「リピーター率」が最も高い都道府県1位: 東京都。「初回訪問者率」1位: 高知県

○旅行先選択理由のうち「クチコミなどで評判がよかった都道府県」1位: 沖縄県

○「食」の1位高知県が死守。2位、3位の顔ぶれに変化。千葉県はスポット3冠王

・地元ならではのおいしい食べ物が多かった	1位 高知県	2位 宮城県	3位 石川県
・魅力のある特産品や土産物が多かった	1位 沖縄県	2位 京都府	3位 長崎県
・魅力的な宿泊施設が多かった	1位 大分県	2位 沖縄県	3位 千葉県
・地元の人々のホスピタリティを感じた	1位 沖縄県	2位 宮崎県	3位 鹿児島県
・子供が楽しめるスポットや施設が多かった	1位 千葉県	2位 沖縄県	3位 和歌山県
・若者が楽しめるスポットや施設が多かった	1位 千葉県	2位 沖縄県	3位 大阪府
・大人が楽しめるスポットや施設が多かった	1位 千葉県	2位 京都府	3位 沖縄県

.....P8-10

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

調査概要

◎調査名 じゅらん宿泊旅行調査2011

◎調査方法 インターネットによる調査

■1次調査

- ①調査目的 全国の宿泊旅行実施者を抽出することに加え、性・年代別の宿泊旅行実施率と社会的な出来事の影響を知るために実施した。
- ②調査時期 2011年4月15日（金）～20日（水）
- ③調査対象 全国20～79歳の男女（株式会社マクロミルの登録モニター）
- ④配信数 231,757件
- ⑤調査内容 昨年度1年間（2010年4月～2011年3月）の国内宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）の有無について
- ⑥回収数 80,000件（回収率34.5%）
- ⑦1次調査集計対象者数 20,000件
- ※2次調査において都道府県別、性・年代別の割付にあった回収が得られるように配信した。
- ・配信数と割付について
2次調査のセル別目標回収数は、『H22 国勢調査<速報>』の都道府県別・性・年代別の人口に概ね従うように47都道府県を5ランクに分けサンプル数を割りつけて配信した。ランクごとに6:5:3:2:1の割合で、合計約15,400件の回収を目標とした。
 - ・2次調査の配信数は、ウェイトバック値のバランスをなるべく揃えるために、県別に均等割付ではなく、ランクを設けて割付を行った上で、1次調査及び追加調査の旅行実施者42,466件を都道府県ごとに分配し、サンプル数を割り付けて配信した。
- ※回収された80,000件のうち都道府県別・性・年代別に割付を行い20,000件を抽出。性・年代別宿泊旅行実施率を算出。
- ⑧2次調査対象件数 41,749件

■2次調査

- ①調査目的 全国の宿泊旅行実施者に対して、宿泊旅行の内容を知るために実施した。
- ②調査時期 2011年4月20日（水）～26日（火）
- ③調査対象 42,466件（うち、同居家族モニター717件）
- ・1次調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」、と回答した人：41,749件
 - ・追加調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」、と回答した人のうち、調査協力が得られた60歳以上の家族本人：717件
- ※調査回収難度が高い60歳以上の回収数を増やすために追加調査を実施した。追加調査は株式会社マクロミルの登録モニターのうち60歳以上の家族と同居しているモニターを対象として該当家族が同席する上で回答という条件で実施。（回収数20,000件（配信数51,158件 回収率39.1%）、2次調査対象者数717件）
- ④配信数 23,954件（うち、同居家族モニター267件）
- ※配信数は対象者の中から都道府県別、性・年代別の割付にあわせてランダムに抽出した。
- ⑤調査内容 昨年度1年間に実施したすべての宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）の行き先と回数について、また1人最大3件までの個別宿泊旅行について、具体的な内容を調査した。
- ⑥回収数 15,556件（回収率64.9%）
- ⑦有効回答数 15,513件（うち、同居家族モニター109件）

※集計・分析手法について

はじめに「平成22年国勢調査<速報>」および1次調査結果を用いて、全国の宿泊旅行者の母集団を推計した。次に、2次調査の集計・分析にあたり、推計された宿泊旅行者の母集団における都道府県別、性・年代別構成比に基づいてウェイトバックを行い、構成比のずれを補正している。

また今回は60歳以上の登録モニター数が少ない県について、60歳以上の家族と同居している登録モニターに代理回答を実施、2次調査の調査対象として追加した。

※調査対象エリアについて2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、被災地エリアにおいて調査対象者の確保が難しい状況であったが、調査開始時期を4月中旬以降に延期し、被災地エリアについては協力意向のあるモニターのみに依頼した結果、全都道府県において調査協力者を得ることができ、おおむね全国の人口構成に従った回収ができた。

◇じゃらんリサーチセンターの概要

「じゃらんリサーチセンター」は、国をはじめ地方自治体、観光関連事業者にとって、すぐに使える情報を広く提供し、かつ、日本の観光振興にさまざまな切り口から提案を行うことで、新しい観光ムーブメントを創出し、観光産業全体のさらなる活性化に寄与することを狙いとし、2005年8月より、株式会社リクルート旅行ディビジョン内に設置されている組織です。

昨年度1年間(2010年4月～2011年3月)宿泊旅行※1実施率が前年度比で大幅減少し57%(3.6ポイント減)に。実施率が6割を超えているのは、20～34歳女性と50～79歳女性。全国の延べ宿泊旅行者数※2は約1億5,020万人(前年度比7.5%減)、延べ宿泊数※3は約2億4,686万泊(前年度比7.8%減)となった。

昨年度1年間に宿泊旅行を行った人の割合は60.3%→56.7%と3.6ポイント減少(震災のあった2011年3月の影響を除いた2月末までの実施率比較でも3.2ポイント減)。宿泊旅行実施者の年間平均旅行回数は2.79回→2.73回とほぼ横ばいであったものの、実施者が大幅減少したことから、延べ宿泊旅行者数は1,219万人減(前年度比7.5%減)。また宿泊旅行実施者の1回の旅行あたり平均宿泊数は1.65泊→1.64泊と、前年度からほぼ横ばいで推移し、延べ宿泊数2,092万泊減少(前年度比7.8%減)。前年度のシルバーウイークの反動も見られる。

※1 宿泊旅行・・・国内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行などを除く

※2 延べ宿泊旅行者数・・・推計人口×宿泊旅行実施率×宿泊旅行実施者の年間平均旅行回数

※3 延べ宿泊数・・・延べ宿泊旅行者数×宿泊旅行実施者の1回の旅行あたり平均宿泊数

◇延べ宿泊旅行者数の推計方法

※推計値の算出は四捨五入していない実データで行っています。

	H22.10.1現在推計人口	調査結果			推計値		
	人口 (万人) <A>	宿泊旅行実施率 (%) 	宿泊旅行実施者の年間平均旅行回数 (回) <C>	宿泊旅行実施者の1回の旅行あたり平均宿泊数 (泊) <D>	実宿泊旅行者数 (万人) A*B	延べ宿泊旅行者数 (万人回) A*B*C	延べ宿泊数 (万泊) A*B*C*D
[11年]全国20～79歳男女	9,672	56.7	2.73	1.64	5,489	15,020	24,686
	前年との差→	▲ 3.6		前年との差→	▲ 330	▲ 1,219	▲ 2,092
				前年比→	▲ 5.7%	▲ 7.5%	▲ 7.8%
[10年]全国20～79歳男女	9,653	60.3	2.79	1.65	5,819	16,239	26,778
[09年]全国20～79歳男女	9,688	63.1	2.84	1.68	6,110	17,355	29,235
[08年]全国20～79歳男女	9,707	63.8	2.83	1.69	6,196	17,514	29,604
[07年]全国20～79歳男女	9,686	64.7	2.77	1.69	6,269	17,366	29,325
[06年]全国20～79歳男女	9,722	66.1	2.78	1.72	6,424	17,875	30,856
[05年]全国20～79歳男女	9,707	65.4	2.73	1.68	6,350	17,343	29,024

【参考】11年 性・年代別

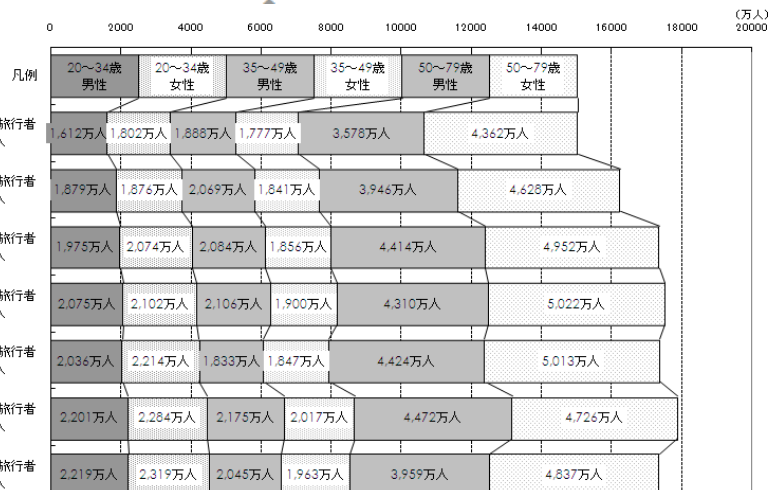
20～34歳 / 男性	1,148	53.2	2.64	1.71	610	1,612	2,756
20～34歳 / 女性	1,102	61.3	2.67	1.64	675	1,802	2,956
35～49歳 / 男性	1,339	53.6	2.63	1.62	718	1,888	3,059
35～49歳 / 女性	1,316	53.6	2.52	1.63	705	1,777	2,897
50～79歳 / 男性	2,285	55.1	2.84	1.59	1,260	3,578	5,689
50～79歳 / 女性	2,482	61.2	2.87	1.68	1,520	4,362	7,329

◇性・年代別 延べ宿泊旅行者数の推移(推計値)

※推計値の算出は四捨五入していない実データで行っています。

※人口について、下記の統計値を用いて調査を行っています。

2011年 : H22年国勢調査速報
 2010年 : H21年10月1日現在推計人口
 2009年 : H20年10月1日現在推計人口
 2008年 : H19年10月1日現在推計人口
 2007年 : H17年10月1日現在国勢調査人口
 2006年 : H16年10月1日現在推計人口
 2005年 : H15年10月1日現在推計人口



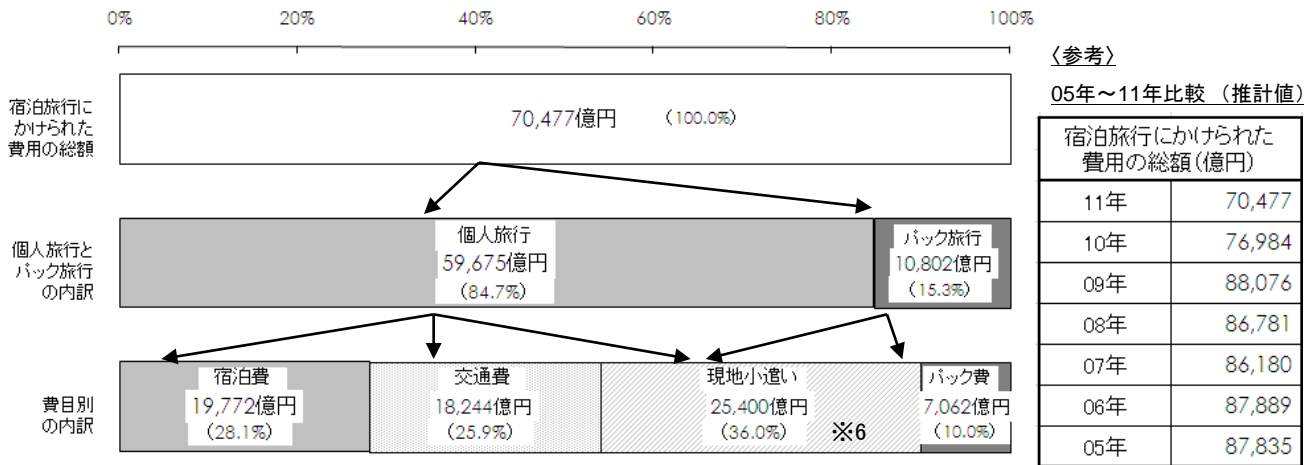
TOPIC 宿泊旅行にかけられた費用

全国の宿泊旅行にかけられた総額は約7兆円と調査開始以来、最低。
 1回(大人1人あたり)の宿泊旅行にかけた費用は、前年度より400円微減し4万6,900円に。個人旅行は前年度の交通費大幅減少に次ぎ、宿泊費が微減した。

1回あたりの宿泊旅行にかかる費用※4が前年度47,300円→46,900円と、前年度比で400円減少。個人旅行※5における内訳で見ると、交通費は13,700円で前年度と同じ、宿泊費は前年度15,300円→14,900円へと400円減少していた。前年度は、前々年度比較で大人1人あたりの交通費が1,600円の大幅減少し、宿泊費も800円減少した。今年度は引き続き宿泊費が微減し、さらに“安”旅へのシフトが進んだ様子。

※4 1回の宿泊旅行にかけられた1人あたり平均費用…1回の宿泊旅行にかけた費用について、個人旅行の場合、1人あたりの宿泊費・交通費・現地小遣いの合計、パック旅行の場合、1人あたりのバック費・現地小遣いの合計。
 20歳未満の子供を連れた旅行の場合は、全員でかかった費用を同行した大人の人数で割っている。
 ※5 個人旅行…個人で宿を手配した旅行で、旅行会社を通して宿を手配した場合も含む。

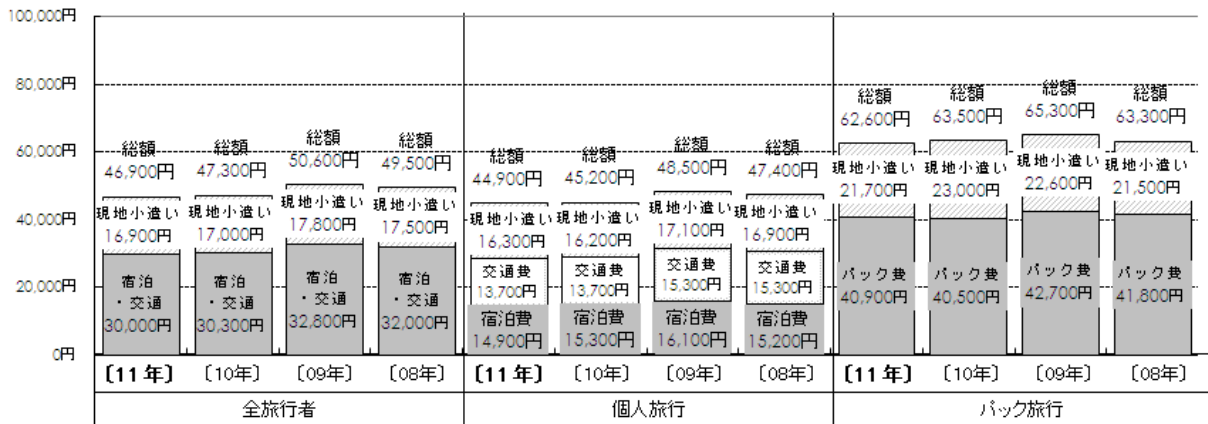
◇宿泊旅行にかけられた費用総額(推計値)



※6 現地小遣い…旅行先での飲食・買い物、遊興費、目的エリア内での移動費用を含む。

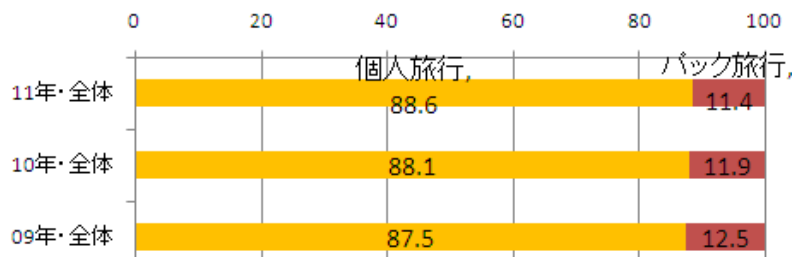
◇1回の宿泊旅行にかかる費用(大人1人あたり)

※金額については、百の位までの四捨五入で示しているため、合計が合わない場合があります。



〈参考〉宿泊旅行の手配方法

※ベース: 宿泊旅行件数



〈全国の宿泊旅行費用総額の推計方法〉

- ①集計データより全国の性・年代別の個人旅行とパック旅行の延べ宿泊旅行者数を推計
- ②全国の性・年代・手配方法(個人orパック)別の旅行費用の平均値(単価)を算出
- ③全国の性・年代・手配方法別の延べ宿泊旅行者数に単価を乗じ、性・年代・手配方法別の費用総額を算出
- ④性・年代別の費用総額の結果を積み上げて全国の宿泊旅行費用総額を算出

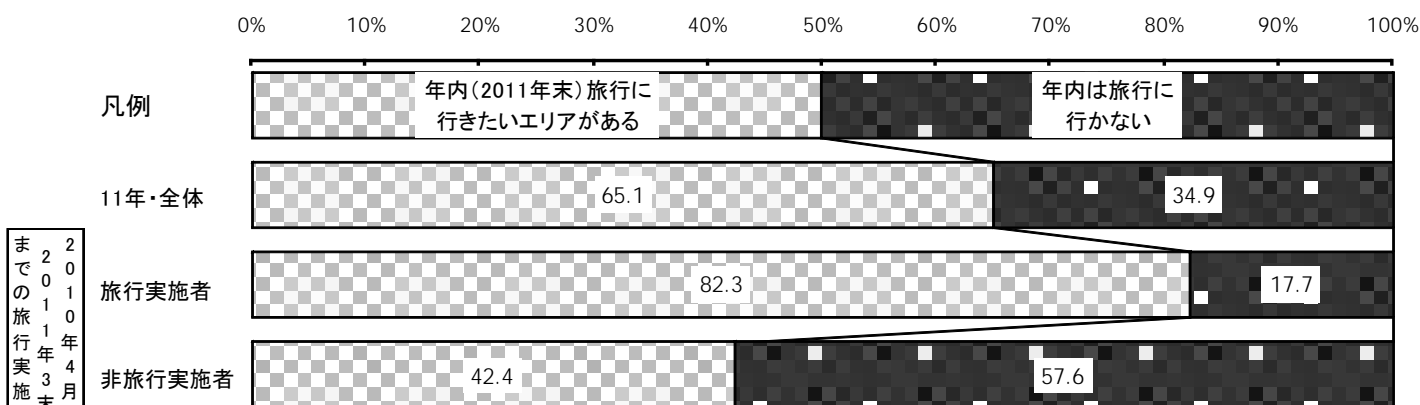
TOPIC 東日本大震災後の国内旅行意向について

東日本大震災から約1ヵ月後(4/20)時点での年内中の旅行意向は65.1%。希望の旅行先と昨年度(2010年4月～2011年3月末)旅行実績を比較し、希望が実績を大きく上回っていたエリアは、沖縄に次いで東北3県(青森県・秋田県・山形県)だった。

全国的に震災の影響は残るものの、4月中旬時点で自粛モードから復興モードに変化し、旅行意向も復活してきている様子が表れている。

震災後、年内中の希望の旅行先を尋ねたところ、65%の人が年内中の旅行意向があると回答。昨年度(2010年4月～2011年3月末)に旅行実施した人だけでみると、82%が旅行意向を示した。希望の旅行先と、今年度の旅行実績を比較すると、意向が大きく上回ったのは、沖縄に次いで、東北3県(青森県、秋田県、山形県)だった。青森新幹線の開通や、東北へ行くこと自体が支援になると意識する人が増え始めたことからか、東北観光への意欲が高いことがうかがえる。

◇国内宿泊旅行に対する東日本大震災の影響(2011年4/20時点) (ベース:1次調査集計対象2万人)



※「年内中(2011年4月～年末年始)に旅行意向がある」:各エリアへの旅行意向として、いずれかのエリアに対して「今年のGWに行きたい」「今年の夏休みに行きたい」「今年の秋に行きたい」「今年の年末年始に行きたい」と回答した人の割合

※「年内中に旅行に行かない」:各エリアへの旅行意向として、どのエリアに対しても、「来年度には行きたい」「数年の間は旅行に行かない」と回答した人の割合

【参考】エリアブロック別 旅行先実績と、年内中の希望の旅行先

2011年度(2010年4月～2011年3月末)の旅行先実態の比率と、年内(2011年4月～年末年始)希望の旅行先との比較を指標化。沖縄、北海道、東北3県(青森・秋田・山形)で、大きく旅行意向が上回っている。

	年内に行きたいエリア／旅行先実績エリア(2010年4月～2011年3月末)										
	北海道 エリア	岩手 県・宮 城県・ 福島県	青森 県・秋 田県・ 山形県	北関東 エリア	首都圏 エリア	甲信 越・北 陸 エリア	東海 エリア	関西 エリア	中国・ 四国エ リア	九州 エリア	沖縄 エリア
(2011年4月～2011年内中) 旅行意向(A) (%)	29.3	19.9	20.8	25.2	48.9	34.9	32.7	44.2	35.1	36.2	25.4
(2010年4月～2011年3月末) 宿泊旅行実績(B) (%)	12.3	11.1	7.0	11.1	32.5	23.6	22.0	27.6	16.8	16.8	6.8
意向／昨年度実施(A/B)	2.4	1.8	3.0	2.3	1.5	1.5	1.5	1.6	2.1	2.2	3.7

※希望の旅行先

ベース:1次調査集計回答者 年内中に旅行意向がある人のみ

※旅行実績

ベース:2次調査集計回答者(=宿泊旅行実施者)

**「延べ宿泊旅行※者数の多い旅行先」上位の顔ぶれは、ほとんど変わらず。
延べ宿泊旅行者増加率1位は、平城遷都1300年祭の奈良県で28.7%アップ。**

「延べ宿泊旅行者数の多い旅行先」、「宿泊旅行にかけられた費用総額の多い旅行先」トップ10の顔ぶれのほとんどは、前年度と変わらなかった。「延べ宿泊旅行者数の多い旅行先」トップ10の中で順位を上げたのは、「神奈川県」(5位→3位)、「京都府」(7位→6位)で、いずれも旅行者数(推計)は増加していた。前年11位だった「沖縄県」は10位にランクは浮上したものの旅行者数(推計)は減少。延べ宿泊旅行者数増加率ランキングでは、大型イベントが開催された奈良県、TV番組で話題となったエリアが上位となった。

※出張・帰省・修学旅行などによる宿泊旅行は含まない。

※1回の旅行において複数の都道府県に宿泊した場合、それぞれの都道府県に旅行回数1回とカウントしている。

◇都道府県別の延べ宿泊旅行者数(推計値)

※上位10都道府県

全体						
2011 推計値		順位変動	2010 推計値	2009推計	2008推計	2007推計
全国	15,020万人		16,239万人	17,355万人	17,514万人	17,366万人
1位 東京都	1,499万人	←	(1位 1,628万人)	1,734万人	1,770万人	1,610万人
2位 北海道	978万人	←	(2位 1,136万人)	1,201万人	1,224万人	1,298万人
3位 神奈川県	837万人	↑	(5位 807万人)	860万人	959万人	823万人
4位 長野県	816万人	↓	(3位 871万人)	914万人	981万人	946万人
5位 静岡県	784万人	↓	(4位 828万人)	961万人	936万人	877万人
6位 京都府	687万人	↑	(7位 675万人)	740万人	760万人	767万人
7位 大阪府	678万人	↓	(6位 698万人)	744万人	719万人	752万人
8位 千葉県	593万人	←	(8位 634万人)	702万人	693万人	659万人
9位 兵庫県	476万人	←	(9位 558万人)	546万人	576万人	587万人
10位 沖縄県	461万人	↑	(11位 465万人)	545万人	540万人	493万人

◇宿泊旅行にかけられた費用総額(推計値)

※上位10都道府県

全体						
2011 推計値		順位変動	2010 推計値	2009 推計値	2008 推計値	2007 推計値
1位 東京都	9,422億円	←	(1位 11,060億円)	(1位 11,763億円)	(1位 11,992億円)	(1位 10,950億円)
2位 北海道	6,548億円	←	(2位 8,028億円)	(2位 8,525億円)	(2位 8,632億円)	(2位 9,053億円)
3位 沖縄県	4,294億円	←	(3位 4,416億円)	(3位 5,586億円)	(3位 5,344億円)	(3位 4,661億円)
4位 京都府	3,777億円	←	(4位 3,778億円)	(4位 4,464億円)	(4位 4,351億円)	(4位 4,510億円)
5位 神奈川県	3,536億円	←	(5位 3,455億円)	(6位 3,709億円)	(5位 4,127億円)	(7位 3,546億円)
6位 大阪府	3,360億円	←	(6位 3,402億円)	(5位 4,016億円)	(6位 3,833億円)	(5位 3,943億円)
7位 長野県	3,082億円	←	(7位 3,310億円)	(8位 3,462億円)	(7位 3,716億円)	(6位 3,857億円)
8位 千葉県	2,877億円	↑	(9位 2,951億円)	(9位 3,324億円)	(9位 3,262億円)	(9位 3,074億円)
9位 静岡県	2,850億円	↓	(8位 2,980億円)	(7位 3,466億円)	(8位 3,385億円)	(8位 3,219億円)
10位 福岡県	2,115億円	↑	(11位 2,287億円)	(10位 2,780億円)	(10位 2,668億円)	(10位 2,949億円)

〈参考〉延べ宿泊旅行者数増加率(推計値)

※上位5都道府県

＜都道府県別の宿泊旅行費用総額の推計方法＞

- ①集計データより、都道府県別に、性・年代別の個人旅行とバック旅行の延べ宿泊旅行者数を推計
- ②都道府県別に、性・年代・手配方法(個人orバック)別の旅行費用の平均値(単価)を算出
- ③都道府県別に、性・年代・手配方法別の延べ宿泊旅行者数に単価を乗じ、性・年代・手配方法別の費用総額を算出
- ④都道府県別の費用総額について、性・年代別の費用総額の結果を積み上げて算出

全体	
10年→11年 増加率	
1位 奈良県	28.7%
2位 愛媛県	9.0%
3位 高知県	6.6%
4位 香川県	4.1%
5位 神奈川県	3.8%

TOPIC 宿泊旅行の同行形態

「一人旅」は調査開始以来、6年連続増加し13.1%。「小学生以下の子連れ家族旅行」は前年度より構成比が微増し、12.8%に。

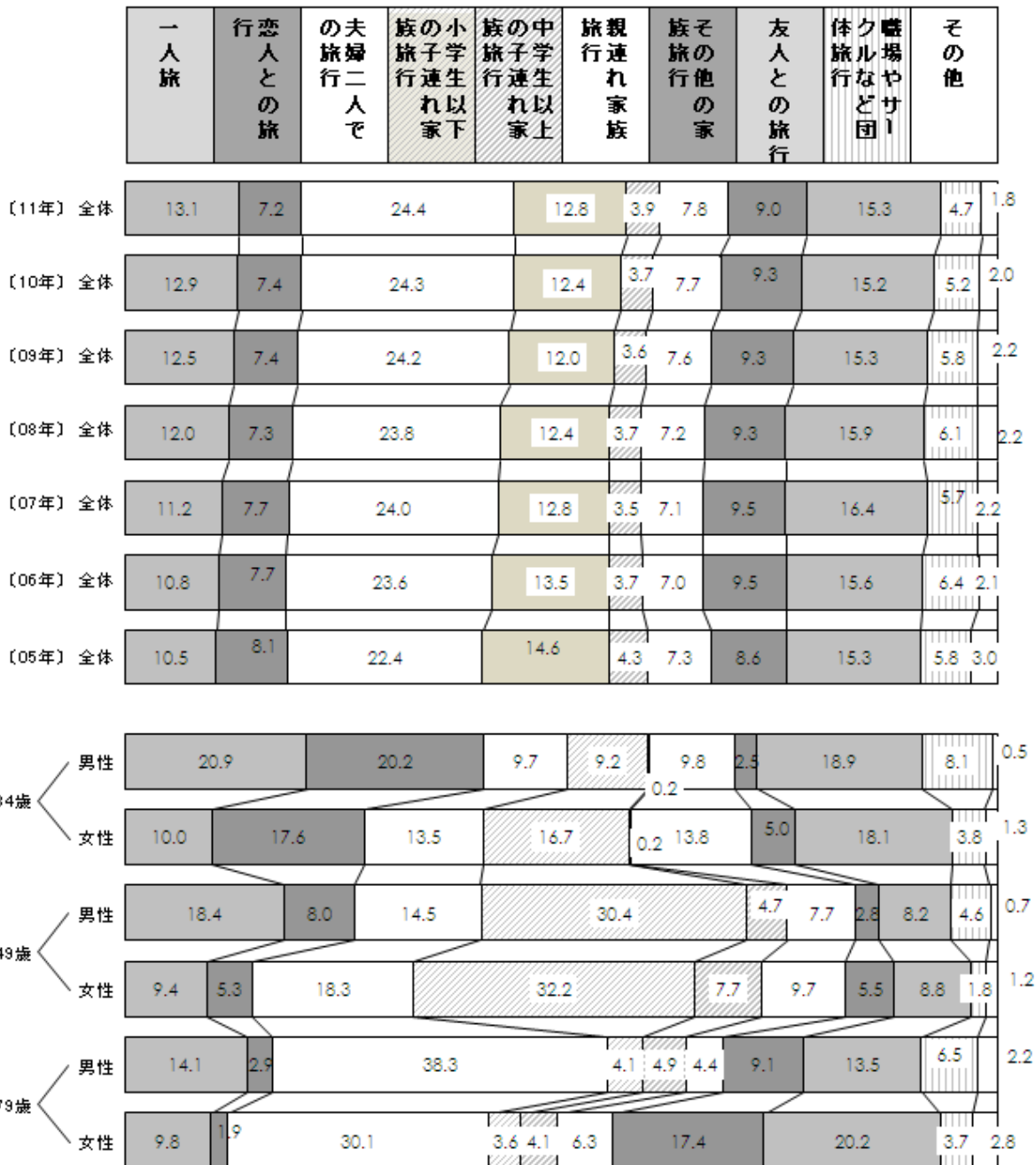
全体的な同行形態の傾向は変わらず、最も割合が高いのは「夫婦二人での旅行」(24.4%)となっている。年々減少傾向にあった「小学生以下の子連れ旅行」が12.8%と、前年12.4%から微増した。一方、「一人旅」は6年連続増加し13.1%となった。

※出張・帰省・修学旅行などによる宿泊旅行は含まない。

◇宿泊旅行の同行形態(単一回答)

<ベース: 宿泊旅行件数>

(%)



TOPIC 初回訪問者率の高かった都道府県ランキング

旅行者のうち、初回訪問者が多い都道府県の上位は、1位：高知県、2位：徳島県、3位：島根県・香川県で、5割前後を初回訪問者が占める。

宿泊先都道府県への来訪経験を尋ねた。それぞれ、初回訪問者とリピーターの構成を比較した。初回訪問者の構成比が高い都道府県上位は、ドラマで話題の島根県、竜馬人気と高速1000円の影響か高知県をはじめとした四国4県が上位を占める。その他、瀬戸内芸術祭が実施された香川県、岡山県を中心とした中国地方も上位。ちなみに、リピーター率の高い都道府県は、旅行者数（推計）上位である都道府県と顔ぶれが近かった。

■旅行者のうち、初回訪問者比率が高い都道府県

		初回訪問者
全体		26.6
1位	高知県	50.5
2位	徳島県	48.6
3位	島根県	47.8
	香川県	47.8
5位	愛媛県	45.6
6位	広島県	42.6
7位	鳥取県	41.9
8位	秋田県	40.8
	佐賀県	40.8
10位	岡山県	40.0

(単位：%)

<参考>「旅行先の選定理由」(初回訪問者・リピーター別) ※各項目に対し「当てはまる」「やや当てはまる」の計の割合

旅行先に“初めて訪れた人（初回訪問者）”と“リピーター（経験者）”で、旅行先を決定した理由を比較した。初回訪問者の選択理由上位は「観光スポット」「宿」「食・特産品」。また、初回訪問者がリピーターを上回っていたのは「食・特産品」「観光スポット」「テレビや雑誌などで話題」「クチコミ」だった。

(単位：%)

	ソフト資源			ハード資源			情報接点				
	特産品なら興味がある	良い宿・ホテルがあったから	イベント・観光地・観光地・観光地・観光地・観光地	特定の観光地・観光地・観光地・観光地	魅力的な温泉があったから	交通の便が良かったから	テレビや雑誌などで話題	クチコミなどで評判	家族や親戚、知人が	家族や知人が誘われたから	なじみがあつたから
全体	39.4	49.0	27.4	64.9	33.9	45.0	18.1	21.2	23.8	27.2	33.8
初回訪問者	40.1	41.7	24.9	69.1	32.1	34.2	20.9	21.5	16.5	26.6	13.1
リピーター	39.2	51.7	28.3	63.3	34.5	48.8	17.1	21.0	26.4	27.4	41.3

※初回訪問者がリピーターを上回っている項目に網掛け

【参考】 ■テレビや雑誌などで話題になっていたから ■クチコミなどで評判が良かったから

「旅行先の選定理由」別 都道府県ランキング(抜粋)

	全体	18.1
1位	奈良県	36.9
2位	高知県	33.0
3位	長崎県	31.6
4位	島根県	25.4
5位	沖縄県	24.2
6位	千葉県	24.0
	北海道	24.0
	宮崎県	24.0
9位	富山県	23.2
	大分県	23.2

(単位：%)

	全体	21.2
1位	沖縄県	30.5
2位	群馬県	27.5
3位	富山県	27.4
	大分県	27.4
5位	熊本県	27.2
6位	千葉県	25.9
7位	北海道	25.8
8位	宮崎県	25.3
9位	長崎県	24.8
10位	岩手県	24.1

■地元ならではのおいしい食べ物が多かった

(単位:%)

ー 1位:高知県、2位:宮城県、3位:石川県

高知県は「カツオ」づくし。前年7位から2位に浮上した宮城県は「牛たん」「牡蠣」、北陸3県がランクアップし3年ぶりにトップ10入りした石川県は「カニ」、「のどぐろ」「治部煮」などが評価。

全国的な傾向として、刺身・魚介類一般・カニ・ウニ・エビなど、地元でとれる新鮮な海の幸、ブランド牛肉が各地で挙げられている。また「そば」「ラーメン」「うどん」などご当地麺も多く挙げられている。宿の外で食べる昼食の満足度を上げる施策も重要であることがうかがえる。

2011 順位		2010 順位	
全体平均	57.1	全体平均	56.0
1位 高知県	76.7	1位 高知県	80.8
2位 宮城県	76.1	2位 香川県	74.6
3位 石川県	73.9	3位 沖縄県	71.2
4位 沖縄県	72.7	4位 北海道	70.6
5位 福井県	72.4	5位 山形県	70.4
6位 北海道	71.0	6位 長崎県	69.6
6位 香川県	71.0	7位 宮城県	68.7
8位 富山県	70.6	8位 鹿児島県	68.6
9位 長崎県	68.7	9位 富山県	67.9
10位 広島県	67.9	10位 福井県	67.6

■魅力のある特産品や土産物が多かった

(単位:%)

ー 1位:沖縄県、2位:京都府、3位:長崎県

前回同様、黒糖や紅芋など独特の食材が強い沖縄県が1位。次いで、漬物や抹茶など定番商品が強い京都府が続く。3位の長崎県は前年6位から浮上。

第1位となった沖縄県では紅芋、雪塩、黒糖など、独特の特産品を生かした商品、「琉球ガラス」などが並ぶ。第2位の京都府では「漬物」「八ツ橋」など定番商品が根強い人気。長崎県は「カステラ」「ちゃんぽん」などの定番商品に加え、「坂本龍馬グッズ」「佐世保バーガー」などブームに乗った商品も挙げられた。

2011 順位		2010 順位	
全体平均	45.4	全体平均	44.9
1位 沖縄県	68.8	1位 沖縄県	67.7
2位 京都府	62.8	2位 京都府	65.7
3位 長崎県	61.3	3位 高知県	61.0
4位 高知県	58.9	4位 北海道	59.9
5位 北海道	58.1	5位 鹿児島県	59.8
6位 石川県	57.1	6位 長崎県	58.1
7位 鹿児島県	56.5	7位 香川県	56.7
8位 宮城県	56.3	8位 山形県	53.2
9位 宮崎県	55.8	9位 宮崎県	52.8
10位 香川県	52.2	10位 宮城県	51.8
		10位 石川県	51.8

■魅力的な宿泊施設が多かった

(単位:%)

ー 1位:大分県、2位:沖縄県、3位:千葉県

1位は老舗温泉が強い大分県。沖縄県は、青い海が見えるリゾートホテルが人気。

3位の千葉県はファミリー連れに支持された結果。

大分県では、宿泊施設の固有名詞より温泉地名自体が多く挙げられているのが特徴的。一方、沖縄県では宿の固有名詞が多数挙げられていた。千葉県ではアミューズメントパークや観光スポット周辺の宿が挙げられていた。全国的には老舗旅館の固有名詞も目立つ。宿の魅力でリピーターを獲得していることがうかがえる。

2011 順位		2010 順位	
全体平均	40.6	全体平均	39.4
1位 大分県	63.4	1位 沖縄県	58.4
2位 沖縄県	56.3	2位 大分県	54.6
3位 千葉県	51.4	3位 熊本県	50.6
4位 熊本県	49.6	4位 千葉県	49.6
5位 神奈川県	49.1	5位 鹿児島県	47.6
6位 群馬県	47.5	6位 神奈川県	45.6
7位 北海道	47.3	7位 長崎県	45.4
8位 岐阜県	47.2	8位 北海道	45.1
9位 石川県	47.1	9位 群馬県	44.8
10位 栃木県	46.6	10位 山形県	44.3

■地元の人々のホスピタリティを感じた

(単位:%)

ー1位:沖縄県、2位:宮崎県、3位:鹿児島県

6年連続1位の沖縄県、2位宮崎県は前年10位から浮上。東北5県がトップ10入りしている。

前年度比較では、全体平均が1.2ポイントアップ。1位の沖縄県では、ホテル、観光スポット、買い物スポットに加え、タクシー、居酒屋、飲食店や市街地名が挙げられている。全体的な傾向として、観光事業者以外で、祭りやイベント、市場や散策中に触れ合う一般人との交流体験が挙げられていた。

2011 順位		2010 順位	
全体平均	24.6	全体平均	23.4
1位 沖縄県	49.4	1位 沖縄県	51.7
2位 宮崎県	36.5	2位 鹿児島県	36.9
3位 鹿児島県	34.3	3位 岩手県	33.1
4位 青森県	32.5	4位 山形県	32.4
5位 宮城県	31.9	5位 高知県	32.3
6位 岩手県	31.0	6位 京都府	31.6
7位 山形県	30.9	7位 青森県	31.1
8位 京都府	30.8	8位 秋田県	30.5
9位 島根県	30.0	9位 熊本県	30.0
10位 秋田県	29.7	10位 宮崎県	29.6

(単位:%)

■子供が楽しめるスポットや施設が多かった

ー 1位:千葉県、2位:沖縄県、3位:和歌山県

2011 順位		2010 順位	
全体平均	22.3	全体平均	22.2
1位 千葉県	63.6	1位 千葉県	61.2
2位 沖縄県	38.5	2位 沖縄県	37.8
3位 和歌山県	35.2	3位 和歌山県	37.3
4位 栃木県	31.5	4位 三重県	36.9
5位 三重県	31.0	5位 栃木県	27.6
6位 大阪府	30.0	5位 大阪府	27.6
7位 山梨県	25.7	7位 大分県	25.5
8位 熊本県	25.5	8位 岩手県	25.3
9位 長崎県	24.1	9位 山梨県	25.0
10位 兵庫県	23.5	10位 東京都	24.5

1位千葉県ではアミューズメントパークだけでなく、牧場や水族館も人気。次いで「沖縄美ら海水族館」が人気の沖縄県、和歌山県は「アドベンチャーワールド」や「サファリパーク」が支持されている。

全国的に、テーマパークと並んで、水族館・動物園、自然体験ができる施設などの支持が高まっている様子がみられる。前年18位だった熊本県は動物と触れ合える場所などが多く挙げられ8位に、前年14位だった長崎県が、ハウステンボスなどが人気を集め、9位にランクインした。

■若者が楽しめるスポットや施設が多かった

(単位:%)

ー 1位:千葉県、2位:沖縄県、3位:大阪府

2011 順位		2010 順位	
全体平均	27.1	全体平均	27.0
1位 千葉県	60.2	1位 千葉県	57.5
2位 沖縄県	51.4	2位 沖縄県	54.8
3位 大阪府	47.9	3位 大阪府	45.9
4位 東京都	42.5	4位 東京都	44.9
5位 福岡県	42.4	5位 福岡県	39.9
6位 神奈川県	31.0	6位 神奈川県	33.8
7位 兵庫県	30.9	7位 三重県	28.9
8位 北海道	27.6	8位 北海道	28.1
9位 三重県	27.0	9位 兵庫県	27.7
10位 栃木県	26.8	10位 長野県	26.7

上位の顔ぶれは前年度とほぼ変わらず。テーマパークとショッピングが強い都市部と、スポーツを売りにした旅行先が上位にランクイン。

全体の傾向として、街歩き、ショッピングエリア(アウトレット、街の名前など)やカラオケ・アミューズメント施設も多く挙げられている。テーマパーク、水族館・動物園、温泉、神社仏閣と並んで、野球場やスポーツ(ゴルフ、スキー、マリンスポーツなど)も挙げられていた。

■大人が楽しめるスポットや施設が多かった

(単位:%)

ー 1位:千葉県、2位:京都府、3位:沖縄県

2011 順位		2010 順位	
全体平均	42.2	全体平均	43.0
1位 千葉県	59.3	1位 京都府	63.5
2位 京都府	57.4	2位 沖縄県	57.3
3位 沖縄県	55.9	3位 千葉県	55.7
4位 奈良県	52.8	4位 奈良県	54.6
5位 大阪府	48.5	5位 東京都	50.2
6位 東京都	48.1	6位 神奈川県	48.6
7位 島根県	47.0	7位 大阪府	48.5
8位 福岡県	46.6	8位 福岡県	48.4
9位 長崎県	45.4	9位 大分県	46.6
10位 大分県	44.8	10位 三重県	45.9

前年3位から1位に浮上した千葉県は、子供、若者、大人が楽しめるスポットや施設ランキングで3冠となった。島根県は前年トップ10圏外から7位に大きく浮上。出雲大社が支持された。

全体の傾向として多岐にわたるスポットや施設が挙げられている。名所・旧跡や自然園、テーマパーク、美術館、温泉、街歩きしやすいエリアを挙げる回答が目立つ。全体的に神社仏閣も多く挙げられ、スピリチュアルスポットブームの継続がうかがえる。

<ランキングの算出方法>

※集計は各都道府県への宿泊旅行件数がベース

- ①各テーマに関し、訪問した都道府県の評価を「そう思う」「ややそう思う」「ふつう」「あまりそう思わない」「そう思わない」の5段階から選択。
- ②「そう思う」「ややそう思う」計の割合が多い順にランキングしている。

<コメントの回答方法>

「そう思う」「ややそう思う」と回答した設問に任意でフリーコメントを記入。

※対象設問:「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」「魅力のある特産品や土産物が多かった」「魅力的な宿泊施設が多かった」「子供が楽しめるスポットや施設が多かった」「若者が楽しめるスポットや施設が多かった」「大人が楽しめるスポットや施設が多かった」「地元の人のホスピタリティを感じた」

<参考>宿泊旅行の目的(複数回答)

※ベース:宿泊旅行件数。上位10項目(その他以外)抜粋

(%)

	11年	10年
地元の美味しいものを食べる	37.2	33.9
温泉や露天風呂	34.9	34.3
名所、旧跡の観光	31.5	30.7
宿でのんびり過ごす	30.6	28.0
まちあるき、都市散策	19.9	17.6
友人・親戚を訪ねる	15.5	14.2
買い物、アウトレット	14.4	12.0
テーマパーク(遊園地、動物園、博物館など)	14.0	13.8
花見や紅葉などの自然鑑賞	11.2	10.4
お祭りやイベントへの参加・見物	7.6	5.1